一八八	27年度事	孫事業実績	評価表				(以)	策No.	1	施策No.	1	.3 =	事業No.		5	
事	务事業名	流通環境	竟改善事業						会計 事業種別	一般到		開始		超区分		
H28‡	11 担 課 等	名 商業・市	街地活性記	果	H28係等名	商業流通係				」 系等名		流通係		がミリ		
	上画情本				2.1	きる経済力の強	いまちつ	づくり	1121	л ч н	11-471	() (L) (L) (L)				
	立置づけ		13	新しい	力による新しい	産業づくり										
	4. A. (=	生 (司子)	1 起業希望者							指標名及び単位				27年度	数值	
	对象(i	隹・何を)	2 既存商店等													
目	音図()	ごういう状態	1 起業のノウハウを習得し、起業を実現してもらう					—— 文 多		19歳以上の市民					85000	
	にする		2 経営改善や新分野の開拓を行ってもらう						1							
								楔	6)卸売業・小売業・飲食サー			. #-	0.000		
	向上させたい上位施 策の成果指標 商工団体等で支援して起業した人数									・宿泊業の事業所数				2600		
								ரார் 97	左座宝建	28年度計画 28年度見込み		い。一件学	- (面かい		
							21年度訂	四 21	千及夫稹	28年度訂	四 20	十及兄又	14 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	付付债多	火なとり	
	成果 指標	事業に参加	加した商店、起業希望者等			40		100	00 40		-					
目	11177															
標																
	定性							-								
	目標															
				応し、お	也域生活を支	える中小小売機	能の維持	持強化	のため、	流通環境(の改善	い 取り	0組む。			
	1 日 日	業経営支持	友争 来)													
事																
業																
概																
要																
	事業内容								名称 活動指標							
					かせ市場配達				移動販売実施日数・利用者数 1 48日・2,671人							
	2 地域流通機能強化事業(春うらら丘の上さんぽ)							2 参加店舗数 2 107店								
27																
年																
度事																
業																
内																
容																
	事業		26年度決		27年度予算物	須 27年度決算	草額 28年	年度う	予算額 📗		特分	定財源	ı—— 1-			
事	業費計	(* m)		E20	1,2	10					137	C >13 PO10	四訳、 作	推		
	N N P I			520	1,2	10	806		700		147	C/17 1/3/1	门訳、作	用足		
	国庫	支出金		520	1,2	10	806		700		147		小訳、 作			
	国庫	支出金		520	1,2	10	806		700		137		门訳、作	月正		
	国庫 県才	支出金 出金 登債		320	1,2	10	806		700		147		门 武、作	用足		
	国庫 県才 走	支出金 江出金 登債 の他									147		<u></u> 八訳、作	足		
	国庫 県才 走 そ 一般	支出金 江出金 2債 の他 対財源		520	1,2	10	806		700		137		<u></u> 八訳、作	足		
	国庫 県 ³ 走 そ 一般 件費計	支出金 江出金 登債 の他 対財源 (千円)②		520 179		10	806				137		<u></u> 八訳、作	上		
正	国庫 県 ^支 そ 一般 件費計 提 規職員	支出金 江出金 記債 の他 以財源 (千円)② 所要時間		520		10	806				137		小 武、作	报定		
正臨	国庫 県 ラ そ 一般 件費計 規職員	支出金 江出金 2債 の他 対財源 (千円)② 所要時間		520 179 50	1,2	10 1	806 ,788 500		700				內試、作	报定		
正臨	国庫 県 ^支 そ 一般 件費計 提 規職員	支出金 江出金 2債 の他 対財源 (千円)② 所要時間 所要時間 費①+②		520 179 50 699	1,2	10 1	806 ,788 500		700	W					10.61	
臨	国庫また。その世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の世界の	支出金 正出金 2債 の他 対財源 (千円)② 所要時間 野時間 費①+②	フ援モデル ン行う △2	520 179 50 699 事業は	1,2 1,2 5年の実験検	10 10 10 2 証が終了し、一	806 ,788 500 .594 定の成果	を上に発表され	700 700 700 ずることが	できた。必 久 珊浦加	次年度	きより商	工会議		取り組	
正臨第葉達	国庫ヲ走る一件を表にいる。本の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	支出金 正出金 2債 の他 と財源 (千円)② 所要時間 費①+② は支援を なする。	で援モデル を行う。今後	520 179 50 699 事業は	1,2 1,2 5年の実験検	10 1	806 ,788 500 .594 定の成果	を上い雑者対	700 700 700 ずることが	できた。 <i>や</i> 各課連携	次年度	きより商	工会議		取り組	
正臨業達	国庫ヲ走る一件を表には、日本の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	支出金 正出金 2債 の他 と財源 (千円)② 所要時間 費①+② は支援を なする。	で援モデル でう。今後	520 179 50 699 事業は	1,2 1,2 5年の実験検	10 10 10 2 証が終了し、一	806 ,788 500 .594 定の成果	を上に維者対	700 700 700 ずることが	できた。 り 各課連携	次年度	きより商	工会議		取り組	
正臨業達	国庫ヲ走る一件を表にいる。本の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	支出金 正出金 登債 の他 財源 (千円)② 所要時間 所要時間 買い物を でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。 でする。	と行う。 今後	520 179 50 699 事業は実験	1,2 1,2 5年の実験検 igの結果を踏ま	10 10 10 2 証が終了し、一 え、総合的な買	806 ,788 500 .594 定の成果 い物困糞	維者対	700 700 ずることが †策として、	各課連携	2年度	きより商 取り組	工会議/ む。	所独自で		
正臨業達	国庫ヲ走る一件を表にいる。本の一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	支出金 正出金 2債 の他 対財源 (千円)② 所要時間 買むする (下)である。 (下)である。 (下)のものである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)のである。 (下)ので。 (下)ので。 (下)のでる。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。 (下)ので。	≥行う。今後 也域外資本	520 179 50 699 事業は まなは実験	1,2 1,2 5年の実験検 igの結果を踏ま	10 10 10 2 証が終了し、一 え、総合的な買	806 ,788 500 .594 定の成果 い物困糞	維者対	700 700 ずることが †策として、	各課連携	2年度	きより商 取り組	工会議/ む。	所独自で		
正臨 業達振 革	国庫プルール は は は は は は は は は は は は は は は は は は	支出金 正出金 型債 の他 以財源 (千円)② 所所要時間 野(千要時間) 買い物を でである。 では、一方でも、一方でも、一方でも、一方でも、一方でも、一方でも、一方でも、一方でも	と行う。今後 地域外資本 バ地域内循	520 179 50 699 事業は は実験	1,2 1,2 5年の実験検i âの結果を踏ま 総合小売など ような仕組みの	10 10 2 証が終了し、一 え、総合的な買 の利用により地 構築。	806 ,788 500 594 定の成果 い物困類	離者対	700 700 ずることが †策として、 域外へ流	各課連携出しない。	<年度 を を め、	まより商 取り組 地元/	工会議F む。 \売店の	所独自で	トービス	
正臨 業達振 革	国庫プルール 単二 東京 また 一般 一次	支出金 正出金 正は では では では では では では では では では で	と行う。今後 地域外資本 い地域内循 高齢化する:	520 179 50 699 事業は実験 の大型る。 地域に	1,2 1,2 5年の実験検i âの結果を踏ま 総合小売など ような仕組みの	10 10 20 証が終了し、一 え、総合的な買 の利用により地 の構築。 支援、子育て家	806 ,788 500 594 定の成果 い物困類	離者対	700 700 ずることが †策として、 域外へ流	各課連携出しない。	<年度 を を め、	まより商 取り組 地元/	工会議F む。 \売店の	所独自で	トービス	